

四万十町教育振興基本計画策定委員会（第5回） [会議要旨]

1. 開催日時 令和6年8月22日（木） 13:30～13:55

2. 開催場所 四万十町役場東庁舎 2F 町民活動支援室

3. 出席者

(1) 策定委員（出席 9名、欠席 1名）

選出区分	氏名	出	欠
(1) 保育所、小学校及び中学校の代表者	佐竹 美也	○	
	吉岡 栄作	○	
	中内 聖二	○	
(2) 学校等の保護者	楨野 一人	○	
(3) 社会教育委員	林 瑞穂	○	
(4) 有識者	石筒 覚		○
(5) 公募による者	田頭 誠志	○	
	山本 由美	○	
	河上 絵里	○	
(6) その他教育委員会が必要と認める者	野村 泰子	○	

(2) 事務局

教育長	山脇 光章
教育次長	浜田 章克
学校教育課	長森課長、真城副課長、浜口教育対策監、(欠席：横山係長)
生涯学習課	今西課長 (欠席：高瀬副課長、宮本係長、中村係長)

4. 傍聴者 0名

5. 次第

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 協議

(1) 前回の議事録確認 (資料1)

(2) 意見公募の結果について (資料2)

(3) 計画(案)について (資料3)

- ・修正箇所の確認、その他
- ・計画(案)の承認について

(4) その他

4. 閉会

6. 資料

資料1 (前回議事録)、資料2 (意見公募の結果)、資料3 (計画案・8/6版、補足資料)

7. 会議記録(要旨)

1. 開会

野村委員長：それでは、第 5 回四万十町教育振興基本計画策定委員会を始めます。初めに教育長よりよろしくお願いします。

2. 教育長あいさつ

教育長：皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中、第 5 回策定委員会に出席いただきありがとうございます。前回は申し上げましたが、国の第 4 期、県の第 4 次の教育振興基本計画が策定され、本町の第 2 期計画の策定にあたり、これまでご意見をいただき、ご審議をいただきました。本日をもって最終となることを期待しております。令和の日本型教育の推進といわれる中、本町においてもどのように地域の特性を生かした教育環境を作っていけばいいかという焦点もあろうかと思えます。今回のこの教育振興基本計画がすべて網羅しているとは思いませんが、本町の特色を生かし、さらに課題改善に向けた計画としているところです。ここにもありますように 2040 年以降を見据えた社会において、現時点で予測される課題や変化に対応できる教育のあり方、そして子どもたちの成長を、今回の教育振興基本計画に掲げた基本的な方針をもとに着実な推進に努めてまいりたいと思えます。

本日、策定委員会は最終となりますが、この計画が本当に着実に推進できているか、各委員におかれましてはそれぞれの立場、活動の中でご意見、ご提言をいただきたいと思えます。結びに、本日まで慎重にご意見をいただき、ご審議をいただきました策定委員の皆様へ感謝を申し上げますとともに、町教育行政の更なる発展を祈念いたしまして、開会にあたりのご挨拶とさせていただきます。本日はどうかよろしくお願いします。

3. 協議

野村委員長：協議に入ります。協議「(1) 前回の議事録確認」について事務局より説明をお願いします。

【事務局より、(1) 前回 (R6/5/30) の議事録の確認について説明】

- ・議事録は、計画案 (8/6 版) に同封して送付
- ・事前確認で意見はなかった。この内容で調整することの確認を依頼

野村委員長：議事録について、意見がなければ、最終調整とするが、よろしいか。

全委員：なし。

野村委員長：この内容で調整します。続いて「2 意見公募の結果」について事務局に説明をお願いします。

【事務局より、「2 意見公募の結果」を資料 2 で説明】

- ・7/10 から 7/31 までに意見公募を実施
- ・その結果、意見がなかったことを報告

野村委員長：これについての質疑等はありませんか。

全委員 : なし。

野村委員長 : ないようなので、「3 計画案について」の説明をお願いします。

【事務局より、「3 計画案について」資料3及び補足資料で説明】

- ・教育委員から指摘があり、補足資料のとおり修正、8/6版の計画案のとおり調整
- ・審議の結果、8/6版を基本に策定委員会の最終案とする予定

野村委員長 : これについてお気づきの点はありませんか？山本委員どうぞ。

山本委員 : 6 ページの学力の現状で、「中学校 3 年生では、近年では全国平均を下回る状況続いています」とあります。国語はもちろん数学も全て読解力が著しく下がっていると思います。文部科学省は、その原因として、読書による情報に親しむことが減り、SNS など単語に親しむことが増えたからだだと分析しています。学校教育現場ではどのようにこれを捉えているかお聞きしたいです

中内委員 : 自分の学校のことになりますが、やはり読解力になると厳しい状況があると考えています。まるっきり駄目だとか、そういう認識はないですが、やはり読書活動を積極的に進める必要があると考えています。そのため、図書館関係や図書委員会などと連携を図って、昼休みを開放するなど、積極的に本を読む活動を進めています。それがすぐ結果に結びつくかとか、学力に結びつくかというところは測りかねますが、やはり文科が言われるように、文字を読んで自分の中で思考していくことは大変大事なことでと考えますので、決しておろそかにせずに、できる限り読書活動を進めているところです。

野村委員長 : よろしいですか。他に。榎野委員どうぞ。

榎野委員 : 15 ページの主な取り組み イ) のシームレス化ののですが、注釈があれば、なお分かりやすいと思います。いらないと判断でもいいですが。

野村委員長 : この件について。

事務局 : ご指摘のように注釈があればより分かりやすいとのご意見ですので、注釈を入れるように修正します。

野村委員長 : 他に。田頭委員、お願いします。

田頭委員 : 先ほどの読書活動について、33 ページ「現状と課題」の2つめに「読書活動には家庭・学校・図書館・地域等の連携が必要」とあるので、学校や学校教育課だけでなく、生涯学習課や教育研究所との連携が大事なかなと思います。

野村委員長 : ありがとうございます。他にありませんか。ないようですが。事務局どうぞ。

事務局 : 先ほどの注釈の追加も含め、文書の解釈が変わらない程度で字句の修正が発生すると考えられます。それに合わせて、委員の皆さんに集まって協議することは現実的でないため、今後の字句の修正は、委員長に一任することを検討いただければと考えています。

野村委員長 : 先ほどの指摘の修正とあわせて、字句等の修正については、内容に変わりがないため、変更の確認は委員長一任で了解いただき、最終案を承認したいと思います。

全委員 : 異議なし

野村委員長 : はい、最終案の承認をいただいたので、その他に行きます。今後の流れについてお願いします。

事務局 : 本日承認いただいた最終案を調整し、9月3日の四万十町教育委員会定例会に議案として上程します。その会で議案が承認されれば計画策定となり、今後この計画をもと

に教育行政を進めていくこととなります。策定委員会委員の任期については、要綱にあるように計画が承認されたのもって任期が完了となる予定です。計画策定後は、計画書とあわせて、本日の議事録を送付させていただきますのでご確認をお願いします。

野村委員長：説明について、何かありませんか。ないようなので閉会に移ります。次長よろしくをお願いします。

4. 閉会

教育次長：はい、今日は第5回策定委員会ということで出席いただきましてありがとうございます。本日は最終ということで最終案を決定していただいたところです。この計画については当初予定していた時間より、イレギュラーもありまして長期間を要したところでございますが、皆様には熱心にご審議いただきまして、ありがとうございます。今後につきましては、先に教育長も申し上げましたように、この計画に従いまして教育行政を着実に進めてまいります。委員の皆さまには携わった視点から、また外部からの視点でご意見等をいただけたらと思っております。まだまだ暑い日が続くと予想されます。皆さんには健康にも注意されますようお願い申し上げます。また、会の中では事務局の説明につたない部分があり申し訳ありませんでした。お詫びを申し上げて最後のご挨拶とさせていただきます。今日はありがとうございました。